



音楽会でリフレッシュ！

みんなの子育て広場 (URACCO)

小さな音楽会が8月23日、みんなの子育て広場 (URACCO) で開催されました。

この音楽会は、ピアノ教室の先生など市内在住の音楽が好きな3人にURACCOが依頼して開催したもので、親子連れなど約40人が来場し、歌や演奏を楽しみました。

この日は、子どもたちが楽しめる童謡やポップス、ピアノ演奏など、さまざまな曲目が演奏され、終了後には、「生演奏と生の歌声に感動した」、「もっと聞きたい」という声が多くあがりました。



地域ので公園に活力を

コスモスの種まき

志佐町浦免の住民有志によるコスモスの種まきが、8月21日に志佐町の松浦児童遊園で行われました。

この種まきは、社会奉仕活動の一環として、数年前から毎年実施されています。同遊園は、子どもに健全な遊びを与えて、健康を増進することを目的に設置された施設ですが、現在は、子どもの遊ぶ機会が少なくなっている状況にあります。

参加者は、「多くの子どもたちに公園で遊んでもらい、コスモスを見てもらえれば嬉しい」と話していました。

コスモスの見頃は10月下旬。ぜひ一度、足を運んでみてください。



いつまでもお元気で

日野きくゑさん 100歳のお誕生日

日野きくゑさん(星鹿・北久保)が8月30日、100歳のお誕生日を迎えました。

日野さんは、大正7年兵庫県淡路島生まれ。結婚後、仕事の関係で松浦に移り住みました。約3年半前からグループホームに入所されています。明るく社交的な性格で、入所前は、星鹿から志佐まで歩いてお参りに行くなど、ほとんど毎日歩く健康的な生活をしていたことが、長生きの秘訣ではないかと話されました。今は、テレビを見たりしながらのんびり過ごされています。

この日、副市長からお祝いの花束とお祝状を受け取り、終始笑顔を見せておられました。



防災力を高める

消防団活動の充実強化に向けた支援に関する細目協定

市と松浦市福鷹商工会(市原義光会長)による「消防団活動の充実強化に向けた支援に関する細目協定書」の調印式が8月27日、市役所で行われました。

県商工会連合会と市長会などが昨年12月に基本協定を締結し、県内の各市町が地元の商工会と具体的な支援について細目協定として締結しているものです。

福鷹商工会は福島町と鷹島町の約150事業所が所属しています。この協定締結により、会員企業に向けた消防団への加入の呼びかけや業務中の活動に対する配慮など、会社勤めの消防団員が出勤しやすい体制の構築が期待されます。



よさこいでまちを活性化

松浦 YOSAKOI 祭り～ en ～

第10回松浦YOSAKOI祭り～^{en}～が9月2日、松浦海のふるさと館で開催されました。

地元松浦をよさこいで盛り上げたいと平成11年12月に結成した「松浦こいから隊」が、地域活性化のために企画・運営したイベントで、今回記念すべき10回目を迎えました。

松浦こいから隊が、各地のお祭りやイベントでチーム同士の交流の輪を広げてきたことで、九州各地から29チームが参加。どのチームも元気な掛け声とともに踊りを披露し、会場は盛り上がりました。

当日は、復興の一助となればとの願いから、平成30年7月豪雨災害の義援金も募られました。



にぎわう声が響く特別な夜

志佐の夜市で、世界のビアフェス

志佐夜市(志佐商工振興会主催)が8月29日、志佐小学校通り周辺の空き店舗や空き地を活用して開催されました。

昨年、志佐商工振興会が復活させた志佐夜市。今年も、11種類の世界各国のビールにスペシャルおつまみ、こども縁日などの企画、夜市限定のサービスなど、会場一体は、特別な熱い一夜となりました。

ドリンク・フードメニューの充実、チケット制の導入、歩行者天国の実施など、大人も子どもも楽しめるようさまざまな工夫が凝らされ、訪れた人たちはゆったりと夏の夜を満喫していました。



元寇の犠牲者を悼む

元寇記念祭実行委員会

元寇記念祭(鷹島町元寇記念祭実行委員会主催)が8月30日、鷹島開発総合センターで行われました。

元寇記念祭は、元寇で犠牲となった兵士や島民の霊を慰めるため、大正5年に村青年会が中心となって開催し、以来毎年行われています。

平成28年からは、神崎沖海底で元寇船が発見されたことから、その海を臨むことのできる同会場で開催されています。

会場には、地元の各種団体の代表者など約50人が参列し、焼香や慰霊の言葉を捧げるなど、犠牲者の冥福を祈りました。



いざという時のために

救急消防フェア

救急の日である9月9日、市民に救急医療や救急業務の正しい理解と認識を深めてもらうためのイベントが消防署で開催され、200人を超える参加者でにぎわいました。

突然の事故や病気のと看、救急車が到着するまでの間、現場に居合わせた人の行動で命が助かる場合があります。

心肺蘇生やAEDの使用法の体験、救急・救助シミュレーションのほか、放水・地震体験、消防署の施設見学、消防車・救急車両展示、防火服試着、クイズスタンプラリーなど、実際に参加し体験できる企画が数多く実施されました。救急医療や消防について楽しく学べる一日になりました。

